

## 会 議 録

### 1 会議名

令和4年度第9回新道区地域協議会

### 2 議題（公開・非公開の別）

#### (1) 自主的審議事項（公開）

- 1) 第1回準備委員会の開催結果について
- 2) 今後の進め方について
- 3) 分科会
- 4) 本日の審議結果について

### 3 開催日時

令和5年1月18日（水）午後6時から午後7時30分まで

### 4 開催場所

新道地区公民館 多目的ホール

### 5 傍聴人の数

なし

### 6 非公開の理由

なし

### 7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

- ・ 委 員：秋山 茂、飯塚幸太郎（副会長）、井澤 愛、金井 正、佐藤三男  
杉田榮作、千町健実、塚田仁子（副会長）、船崎 聡（会長）本城敏男  
三浦正郎 横山明夫 （欠席2人）
- ・ 事務局：中部まちづくりセンター：小林センター長、藤井係長、山崎主事

### 8 発言の内容

#### 【藤井係長】

- ・ 会議の開会を宣言
- ・ 上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告
- ・ 上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第1項の規定により、会長が議長を務めることを報告

【船崎会長】

- ・会議録の確認者：本城委員

次第2 議題「(1) 自主的審議事項」に入る。

最初に「1) 第1回準備委員会の開催結果について」、事務局より説明を求める。

【藤井係長】

- ・説明

【船崎会長】

12月の準備委員会の開催結果について、参加委員より感想や意見等あるか。発言いただける委員の発言を求める。

(発言なし)

以上で「1) 第1回準備委員会の開催結果について」を終了する。

続いて「2) 今後の進め方について」に入る。

先ほどの結果報告を踏まえ、地域協議会としての今後の進め方を改めて確認したいと思う。

最初に、この「プロジェクト委員会」設置については、前回の会議にて了承されているのだが、きちんとした共通認識がなされていなかった。

先ほどの事務局の説明にもあったように、最初は交流事業を中心に委員会を設置するという目的でスタートしたのだが、意見交換会の中でいろいろな意見が出てきた。

最終的には「地域活性プロジェクト」というかたち、つまり、地域の活性化を目的とする委員会を設置するということになると、交流事業だけではなく、新道地区の活性化のための事業を行うことになると思う。

それをきちんと地域協議会委員に認識していただきたいと思う。

まずは設置の進め方について、各委員の意見を伺いたいと思うがよいか。

(よしの声)

では、横山委員より順番に意見等ある委員は発言願う。

【横山委員】

12月20日の準備委員会での大きな課題としては、“地域交流”と“河川の活用”をどう包含していけばよいのかというところで、いろいろと課題があったように思う。

「地域活性化」というところで一体化するというのを、今一度、全体で確認する必要があるのではないかと思った。

それぞれの共通点をお互いに確認していくことがまずは大事なのではないかと思う。

#### 【三浦委員】

今ほど話があったように、前回の準備委員会の中で「新道の道分科会」の扱いをどうするのか、という話があった。最初は交流分科会を先行して、準備委員会とプロジェクト委員会を作るという流れで進んでいったのだが、その前の意見交換会の際に「新道の道分科会」の話も提起されていたため、準備委員会においてその取扱いについて問われ、議論が伯仲した。

自分としては、新道地区の「地域活性プロジェクト」という位置付けでこのプロジェクト委員会を作るとすれば、「新道の道分科会」と2つをセットにし、本日の議論の中でしっかりと2本立てでいくということを提起して、地域協議会で了解を得てから行ったほうがよいのではないかと考えている。

例えば、「新道の道分科会」で“花や木を植える”といった話になったときに、地域協議会だけでやることではない。やはり地域活性化を目指してということになれば、「プロジェクト委員会」の各団体にもいろいろとお願いをして、皆からの協力を得て、そして皆で取組んでいく。その中から活性化を図るということになれば、「地域交流分科会」が少し先行したかたちで紛らわしいところがあったのだが、2本立てで整理して、準備会にその旨を説明し、了解を得て、プロジェクト委員会を設置していくかたちを取ったほうがよいのではないかと考えている。

#### 【本城委員】

やはり地域協議会でやるわけであるため、「地域交流分科会」と「新道の道分科会」を分けるのではなく、全体で話をしてもらわなければならないと思う。

自分は、準備委員会に参加していないため、全然、成り行きは分からない。ただ、参考資料を見ると、いろいろな意見があったということは分かる。

やはり地域協議会として立ち上げるのであれば、全体を含めた中で、もう1度議論していただきたいと思う。

#### 【千町委員】

他の委員の意見にもあったように、分科会は2つある。

最終的には「地域活性化」ということであるのだが、まずは新道区地域協議会委員、14人それぞれの意見を聞いた中で、準備委員会まで持っていくかたちがよいのではないかと考えている。

2 回の意見交換会の事前の根回しをする中でも、いろいろな話が出ていた。分科会の中でもいろいろと話は出しているのだが、なかなか集約されたかたちにはならないまま、前回の準備委員会になったことも事実である。

「地域活性化」ということであれば、地域協議会委員 14 人全員の意見を総括した中で、準備委員会に持っていったほうがよいのではないかと考えている。

これが自分の考えである。

#### 【杉田委員】

「地域協議会だより」は新道地区全体に行き渡っていると思う。そのため、地域協議会だよりに記載されているように、皆で一緒に前に進んでいけばよいと思う。

多少の訂正があることは仕方がないと思う。実際、11 月号で回覧している。自分はこのように思う。

#### 【金井委員】

以前より思っていたことが、だんだんと思ったようなかたちになってきたように思っている。

地域協議会としての立ち位置、その大きな目標は「地域活性化」であり、2 つの分科会が行うことは同じだと思う。

自分たちもそうであり、住民もそのような捉え方をするのではないかと考えている。

「プロジェクト」という名前がよいのか・悪いのかは分からないが、分科会としての規約を作ることもよいと思う。両方の分科会で作ってもよい。また、全体的なものを作ってもよいと思う。

地域協議会で行っている仕事で、たまたま 2 つのテーマを選んだという話であるため、そこに立ち返ってやったほうがよいのではないかと考えている。

それは仕事の効率や労力の軽減・負担軽減等、いろいろな面で近道になるのではないかと考えている。

#### 【井澤委員】

自分も「新道地区地域活性化」として、一緒にやっていくことができれば一番よいと思う。

2 つのことをお願いするとなると、協力していただく町内会や老人会の人としても、一緒に進めていくことができれば分かりやすいと思う。

#### 【秋山委員】

地域協議会としての「自主的審議」ということで2つの分科会が始まったわけである。

2つの分科会の目的というか、向かう方向は同じなので、分科会とはいえども、皆で話し合っただけで進んでいくべきではないかと思っている。

自分も「新道の道分科会」のことは分からないのだが、これから仕切り直しをしながら並行して進めて、同じように皆で話し合っただけで進んでいくことができればよいと思っている。

#### 【船崎委員】

出た意見をまとめると、立ち上げる委員会では地域協議会からの提案について審議していただき、実際にやるか否かについては委員会に任せるかたちになると思う。実際には「新道地区の活性化」ということがメインになるため、新道地区を活性化させるためにはどうしたらよいのかということを受けとめていただき整理していきたいと思っている。

まだ正式には、委員会は立ち上がっていない。これから規約や構成メンバー等、いろいろなものを決めていくことになると思う。

実際、これまでの意見交換会には「地域交流分科会」のメンバーが入っていたのだが、これからは準備委員会ということで、地域協議会委員全員の中から何人か入っていただき、そこでいろいろなことを決めていくかたちになるかと思う。

そういったことの認識については、よいか。

(よしの声)

事務局より資料の説明を求める。

#### 【藤井係長】

- ・資料1に基づき説明
- ・資料2に基づき説明
- ・プロジェクト委員会の役員選出について説明

#### 【船崎会長】

今ほどの説明に対して、質問や意見を求める。

#### 【金井委員】

仮称の「新道地区地域活性プロジェクト委員会」のネーミングについて質問する。そもそもプロジェクトとは、企画や事業計画という意味である。目標があって、一定の期限があるものである。

例えば、「地域活性化企画委員会」のほうが、しっくりくるような気がする。

どういうコンセプトでこの名前を付けたのか伺いたい。

**【藤井係長】**

この名称は、準備委員会に参加されている方から提案いただいたものである。

いろいろな事業を受け止められる母体として、“プロジェクト”という名称にしたのだと私は解釈しているが、明確な理由は持ち合わせていない。

**【船崎会長】**

最終的に決めるのはここではなく、準備委員会である。

**【金井委員】**

もう一つ質問する。構成員の中に、若い人の団体は入っていないのか。

小学校の保護者会に入っているが、例えば青年会とかはないのか。

**【船崎会長】**

新道地区全体としての青年会はない。だが、それぞれの町内にあるところはある。

また、以前の地域活動支援事業で採択した事業の中に、新道地区の若者の組織を作るような話があったと思う。期待しているので頑張ってもらいたいと思う。

この1年では無理かもしれないが、上手くいけば、あと2年、3年で立ち上がるような気がしている。実際には若い人に入ってもらわないといけない。

**【千町委員】**

私はこの間、意見交換会を開催するために、町内会や老人会、PTAなどに声を掛けてきた。もちろん地区には、子ども会や青年会もある。ただ、なかなか活動していないところもある。

そういった中で、まずは稲田小学校と富岡小学校のPTAから入ってもらおうということで、最終的に今の形になっているのである。

**【金井委員】**

先ほどは言葉が足らず申し訳ない。

資料の規約では、団体の構成について決められているが、今の規約では、例えば青年会が入りたいと言っても入れないようになっている。

全員が参加できるような文言を追加しておけば、委員長の指名で柔軟に参加できると思う。きちっと決めすぎてしまうと、逆に縛られてしまうような気がする。

**【船崎会長】**

今の話ももっともである。

若い人を入れたいという場合には、第6条の最後に「その他会長が必要と認める人」とあるので、そこで飲み込めると思う。

**【金井委員】**

それは役員会のことである。第3条の「構成」には入っていない。

**【千町委員】**

何回も言うようだが、これでプロジェクト委員会が立ち上がるということではなく、まずは意見交換から始めようということでスタートしている。片方の分科会しか意見交換に参加していないから、こういう話になるのである。これがすべてではないと思う。

**【船崎会長】**

今話し合っている規約は、一応我々としてはこうしたいという意見はあるかもしれないが、最終的には準備委員会のほうで変わってくることもある。

個人的な意見では、町内会長協議会に活動の核になっていただく必要があるので、必ず入っていただきたいと思っている。

あとは準備委員会のほうで決めることになる。それでよいか。

(よしの声)

それと、役員会に入る地域協議会委員3人はどうするか。現在の規約案のとおりでは、私と飯塚副会長と塚田副会長の3名になると思う。それで話を進めることとしてよいか。

(よしの声)

以上で次第2議題「(1) 自主的審議事項」の「(2) 今後の進め方について」を終了する。

次に次第2議題「(1) 自主的審議事項」の「(3) 分科会」に入る。事務局より説明を求める。

**【藤井係長】**

先ほど金井委員から発言のあった件については、今後留意しながら検討したいと思っている。

・説明

**【船崎会長】**

これより分科会を行う。

各分科会で審議を行い、終了後に結果を報告していただく。

— 分科会 (30分間) —

会議を再開する。

次第 2 議題「(1) 自主的審議事項」の「4) 本日の審議結果について」に入る。

最初に「地域交流分科会」より報告願う。

**【杉田委員】**

地域交流分科会の報告を行う。

先ほど質問のあった、委員会の名称については「プロジェクト委員会」ではなく「推進委員会」にしたかどうかという話があった。

また、規約 3 条の「構成」については、今の条文をもとに、さらに誰でも参加できるような文言を事務局に考えてもらうこととした。

他にもいろいろな話をしたが、報告は以上である。

**【船崎会長】**

次に「新道の道分科会」より報告願う。

**【金井委員】**

新道の道分科会の報告を行う。

現在は、中央橋の花壇を整備したいという話をしている、まずは業者に依頼した場合の見積りを取った。ただ、趣旨としては業者に一括依頼ではなく、地域で一体になってやる活動だと思う。予算をどうするかということは持ち帰りで検討することになっている。

合わせて、次回までに分科会の規約のようなものを作りたいと思っている。

**【船崎会長】**

以上で次第 2 議題「(1) 自主的審議事項」の「4) 本日の審議結果について」を終了する。

次に次第 2 議題「(2) その他」に入る。

本日の議題等に関して、何かあるか。

(発言なし)

**【船崎会長】**

以上で次第 2 議題「(2) その他」を終了する。

最後に、次第 3「その他」の「(1) 次回開催日の確認等」に入る。事務局より説明を求める。

**【藤井係長】**

- ・次回の協議会について説明

【船崎会長】

— 日程調整 —

- ・次回の協議会：2月21日（火）午後6時から 新道地区公民館 多目的ホール
- ・内容：自主的審議事項

【船崎会長】

最後に何かあるか。

【藤井係長】

地域交流分科会では、団体設立に向けた分科会での議論がほとんど終了している。そのため、今後については正副会長と相談してご提案したいと思っている。

【船崎会長】

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 中部まちづくりセンター

TEL：025-526-1690

E-mail：chubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。